

第5学年国語科学習指導案

指導者 坂本 琳音

- 1 日 時 令和7年10月24日(金) 5校時(13:30～14:15)
- 2 学年・学級 5年2組35名
- 3 単 元 名 やなせたかし「アンパンマンの勇気」

～伝記にえがかれている人物の生き方から、これからの自分に言葉をおくろう～

4 単元について

○児童観

- ・自分のことを棚に上げ、周りを見て注意したり行動したりする児童が多い。自分を見つめ、今の自分の課題に対してどう行動していくか考え、実践していく力を学ぶ必要がある。
- ・自分の考えをもつことはできるが、文章で詳しく書く力には個人差がある。
- ・読書の大切さを分かっているが、自分事として捉えず、進んで読もうという児童は少ない。
- ・自学ノートに積極的に取り組み、自分なりに考えをまとめることを楽しむ児童が多い。

○教材観

- ・初めての伝記教材で、文学的な描写と説明的な描写で構成されている。
- ・児童にとって身近なアンパンマンが登場し、親しみをもって初めての伝記に入ることができる。
- ・伝記から学んだことを、今の自分自身と関わらせながら考え、見つめ直し、これからの生き方を考える良いきっかけとなる。
- ・考えを広げるといふ、読書の良さに気づくことができる。

○指導観

- ・「アンパンマンのマーチ」の歌詞から導入し、伝記に興味をもって取り組めるようにする。
- ・6月に校内で実施した学級力アンケートの結果や、今の自分達をふりかえって2学期はじめに設定した、学級のキャラクター(につくん)を用いる。第7時では、「アンパンマンの勇気」を読んで、につくんに対して伝えたいことを手紙を書く活動を通して、グループで交流しながら考えられるようにする。
- ・「なぜたかしはその言葉を言ったのか」「なぜその言葉を伝えたいのか」「どんな人に成長していきたいか」などと発問を繰り返しながら、具体的に自分と関わらせて考えられるようにする。
- ・自学ノートで身につけた書く力を生かして、「たかし」の人生をまとめていくようにする。
- ・並行読書で、自分で選んだ伝記を読み、日常的に進んで読書に親しむ習慣を学ぶことができるようにする。

○めざす「主体的に学びあうこどもの姿」

今の自分自身をふりかえりながら、これからの自分に伝えたいことを伝記から学んでいる姿

5 単元の指導計画 (本時 7/9)

次	時	学 習 内 容	評 価
1	1	○につくんとともに、今の自分をふりかえる。教科書の本文を読み、伝記とは何かを捉え、単元計画を確認する。	思・主 今の自分についてふりかえている。 伝記とは何かを捉え、次時からの自分なりの目標をもっている。
2	2・3	○伝記に取り上げられている出来事と、「たかし」の言動や考えをまとめる。	思 登場人物に起きた出来事や言動、心情を叙述を基に読み取り、まとめている。
	4	○なぜこれらの出来事が取り上げられているのか、その意味を考える。	思 出来事の意図や出来事を関連付けたりしながら自分の言葉で考えをまとめている。
	5	○「たかし」の言葉や思いをたどりながら、たかしがどんな人物かまとめる。	
	6	○「アンパンマンの勇気」を読んで、につくんに伝えたいことと、その理由を考える。	思・主 心に響いた「たかし」の言葉や思いを理由とともに考え、これからのにつくんに伝えたいことを、交流を通してまとめている。
	7 (本時)	○「アンパンマンの勇気」を読んで、につくんに伝えたいことをまとめる。手紙「につくんに伝えたいこと」をグループで書く。	
3	8	○自分で選んだ伝記を読んで、手紙「これからの自分に伝えたいこと」を書く。	思 伝記から学んだことを自分自身と関わらせながらまとめている。
	9	○お互いの手紙を読み合い、いいなと思ったところや、学んだことを伝え合う。単元全体をふりかえる。	知 読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。

知=知識・技能 **思**=思・表・判 **主**=主体的に学習に取り組む態度

6 単元の目標

- 知** 伝記の特徴を理解し、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。
- 思** 登場人物の言動や心情を、叙述を基に捉えたり、関連付けたりして、自分自身と関わらせながらこれからの生き方についてまとめることができる。
- 主** 伝記を読んで、心に響いた言葉や出来事を今の自分をふりかえりながら見つけ出すことができる。また、それらを進んで交流して伝え合うことができる。

7 本時の目標・評価

- 思** 心に響いた「たかし」の言葉や思いを、につくん（自分達）と関わらせながら考え、伝えたいことを理由とともにまとめている。
- 主** 友達と考えを伝え合いながら、進んでにつくんへの手紙を考えている。
- A：本文から心に響いた言葉をにつくん（自分達）と関わらせながら具体的に考え、進んで伝え合っている。
- B：本文から心に響いた言葉を選び、その理由を伝え合っている。 「ワークシートで評価」

8 本時の展開

学 習 活 動	指導上の留意点
1. 前時までをふりかえる。 2. 本時のめあてを確認する。	○壁面掲示を見ながらふりかえらせる。 ○手紙の完成をイメージし、見通しが持てるようにする。
「やなせたかし アンパンマンの勇気」を読んで、につくんに手紙を書こう	
3. につくんに伝えたいこと、その理由をグループで伝え合う。 「本当の勇気」 理由 ：やなせたかしさんは戦争でのつらい経験から、本当の正義について考えました。「自分の食べもの～それでも、どうしてもだれかを助けたいと思うとき、本当の勇気がわいてくるんだ」ということから、本当の勇気の大切さを学びました。につくんにも自分のことばかり考えるのではなく、本当に困っている人に気づいたらすぐに助けてあげられる人になってほしいです。	○理由は前時に個人で書かせている。 ○「本文のどこからそう思ったのか」 「なぜその言葉なのか」 の視点で話し合いをするよう伝える。
4. <u>グループで交流しながら、手紙「につくんに伝えたいこと」を書く。</u> 「戦争での経験について書いている人が多いね。」「この言葉を合わせてみよう」 「たかしが言った「自分の食べ物～わいてくるんだ」の言葉はにつくんにこれから大切にしてほしいから伝えたいな」 「やなせたかしの生き方をもう少し手紙に書こう」	○理由を伝え合って、考えが似ているところに線を引いたり、手紙に書きたい言葉を囲んだりしながらまとめていくよう伝える。
5. グループごとに発表する。 6. ふりかえり 本時の学習をふりかえる。 ・「アンパンマンの勇気」からこれからの自分に繋がる大切なことを学べた。 ・〇〇さんの理由が自分とは違っておもしろかった。	○次時からは自分で選んだ伝記から、これからの自分に宛てた手紙を書くことを伝える。本時の学びを生かせるようにする。

9 授業の視点 ・につくんを設定してグループ活動を取り入れたことは有効であったか。